2025（令和７）年８月１日

内水面支場
News！

かわら版 Contents

霞ヶ浦でダントウボウの稚魚を採集

令和７年７月２日 トロール漁期前調査にて

写真１ 霞ヶ浦で採集されたダントウボウ稚魚
令和７年７月２日 土浦市沖宿沖 標準体長41.7 mm

写真撮影：水産試験場定着性資源部 外山太一郎

令和7年7月2日に実施されたトロール調査※1において、体長35～45 mmのダントウボウ稚魚※2が16個体採集されました。前年の同時期に実施したトロール調査でも体長27～37 mmの稚魚が15個体採集されており、再生産していることがうかがえます。

ダントウボウ *Megalobrama amblycephala*は中国原産の外来魚で、近年、霞ヶ浦北浦で増加傾向にあります。産卵期は5～6月頃で、大雨後の快晴時に、密生した水草が茂っている場所又は流入小河川や水路で産卵します※3。霞ヶ浦では、産卵生態が似ているフナ類の仔稚魚が湖内ではなく堤脚水路を成育場として利用しているのに対し※4、ダントウボウ稚魚は湖内で採集されたことから、稚魚期から湖の広い範囲を生息域として利用している可能性があります。漁業への影響も考えられることから、水産試験場では引き続き、ダントウボウの動向を注視していきます。

※1 トロール漁の解禁前に霞ヶ浦漁業協同組合が実施 ※2 尻びれ分枝軟条数が26以上ときわめて多く、他のコイ科魚類と容易に識別できる（ダントウボウ 山渓ハンディ図鑑15増補改訂日本の淡水魚） ※3 ダントウボウという魚（日本海洋生物研究所2024年報） ※4 荒山・冨永（茨城内水試研報42）

お問い合わせ 茨城県水産試験場内水面支場内水面資源部 TEL 0299－55－0324（直通）